



家庭系搬入ゴミ春のPR強化月間

1. 道路にゴミを落とさない・・・

ゴミの運搬は、荷台のゴミをシートやアミ等でしっかり覆い道路にゴミを落とさないよう、注意して運搬しましょう。

ロープなどで縛る場合は、隙間からゴミが落ちないように、また、ダンボールや袋の口が開いて風でゴミが飛ばされないように、しっかり口をガムテープなどで止めましょう。(スピードは控えめに・・・風の強い日は特に・・・) ゴミの飛散は**地域の皆さんに大変な迷惑**になります。

2. ゴミは自分の責任で降ろす・・・

ゴミは、搬入者が自分で係員が指示する場所へ安全に降ろすのが原則になっています。

係員は、補助的にお手伝いしますが、必ずしもお手伝いすることができない場合もあります。

係員の指示に従い、怪我や事故のないように他の車両に十分注意してゴミを降ろして下さい。

とくに、「もえるゴミ」の場合は、ゴミピットの車止めに足を乗せたり、ピットから身を乗り出してゴミを捨てないで下さい。(ゴミピットへの転落事故の原因になります。)

3. ゴミは適度の重さ大きさを・・・

ダンボールや袋、ポリ容器などにゴミを入れて搬入する場合は、**ゴミ1個の重さが約20キログラム程度**、また、ダンボールやポリ容器は**容量40%**程度の大きさを、一人でも容易に降ろすことができる重さ、大きさにして下さい。**重たいゴミや大きなゴミ**は、降ろすときに**腰痛やゴミピットへの転落事故**につながります。

4. 捨てるゴミは今一度確認を・・・

捨てたゴミの中に現金や高価な宝石類、大切な書類などが入っていて、自宅に戻ってから「**持って行ったゴミまだありますか?**」などの問い合わせがよくあります。

燃やしたあと、破碎したあとならもう大切なものは**戻ってきません**ので、捨てる前に今一度確認を忘れないようにしましょう。

5. ゴミは分別して搬入・・・

搬入するゴミは、収集するゴミと同じく「もえるゴミ」「もえないゴミ」に分別して搬入して下さい。また、**危険ゴミ(プロパンボンベ・消火器・廃油ほか)**など搬入できないゴミもありますので、詳しくはお問い合わせ下さい。

「もえるゴミ」は、**焼却炉**で燃やして処理します。「もえないゴミ」は、**回転破碎機**で破碎して処理します。

ダンボール、本、雑誌などは、**リサイクル**します。束ねて**ヒモ**で結んでください。

缶類もリサイクルされますが、資源ごみのペットボトルやプラスチック、紙類はリサイクルされませんので、指定された袋で資源ゴミの回収日(市街地区のみ)にゴミステーションに出して下さい。リサイクルセンターでリサイクルされます。

6. 埋立地への搬入・・・

「燃やす」ことも「破碎」することもできないゴミは、埋立地で**埋立**処理します。

係員が**ゴミ**を確認します。係員の**指示がないまま埋立地**に**ゴミ**を搬入することは**できません**。



ルールを守って安全にゴミを搬入しましょう